

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.22)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	けいはんな学研都市用地開発工事	階数	地上1F
建設地	京都府相楽郡精華町	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	700人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2015年2月2日
敷地面積	6,850 m ²	作成者	中西 稔
建築面積	3,855 m ²	確認日	2015年2月2日
延床面積	3,726 m ²	確認者	中西 稔

外観パース等
 □を貼付してください
 ・1Fの計画を併せてください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項

総合	その他		
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 特になし	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価しにくい環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。		
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 特になし	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 特になし	Q3 室外環境 (敷地内) 注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 特になし	
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 特になし	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 特になし	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 特になし	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される